令和８年度　　石部高等学校　学校評価

本年度の重点目標

・基礎的・基本的な学力の定着を図り、生徒の進路希望実現に努める。
・規律と秩序を大切にし、活力あふれる学校生活の実現に努める。
・福祉健康コースの教育内容の充実と地域との連携を図るとともに、特色ある教育活動の情報発信に努める。
・各課や学年など分掌間の調整・連携をこれまで以上に密にして、組織力を強化する。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	学校は、生徒、保護者、地域のニーズに合った魅力ある教育活動を展開している。	A		
	学校は、改善を重ねつつ校務運営を行い、信頼される学校づくりを推進している。	A		
2　学習指導	家庭学習が定着するよう工夫した指導をしている。	C		
	わかりやすい授業の工夫に努め、生徒が主体的に授業に参加できるよう取り組んでいる。	A		
3　生徒指導	基本的な生活習慣の確立をめざす指導を適切に行っている。	A		
	社会規範や常識的なマナーを身につける指導を適切に行っている。	A		
	いじめの早期発見・早期対応に努め、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	A		
4　進路指導	個々の進路希望に応じた指導を行っている。	A		
	勤労観・職業観の育成に努めている。	A		
5　特別活動等	生徒は部活動に熱心に取り組んでおり、学校は部活動の活性化に努めている。	C		
	学園祭や生徒会活動等の取組の充実に努めている。	A		
6　学校図書館	図書に関する情報提供の充実に努めている。	B		
	生徒にとって身近な存在になるよう、教科やホームルーム等で図書館を積極的に利用している。	C		
7　保健・安全指導	生徒の健康管理と病気の予防に努めている。	A		
	事故・ケガ・病気等の緊急時に対する体制を整え、適切に対応している。	A		
8　人権教育	教育活動全体を通して、人権教育を推進している。	A		
	様々な事案に対して適切に対応できる教育相談体制を整えている。	A		
9　環境教育	整理整頓や掃除を丁寧に行い、校内を清潔に保つよう努めている。	A		
	ゴミの減量化、節電などを通して、環境に配慮した生き方の意識を育成している。	A		
10　事務・管理	教育活動に必要な備品や設備を十分に整えている。	B		
	安心して学校生活を送れる環境や体制づくりに努めている。	A		
11　その他 学校の取組	教職員は保護者等の来校や電話に対して、丁寧な応対をしている。	A		
	福祉健康コースの充実を図り、地域に根ざした学校づくりを推進している。	A		
	三雲養護学校石部分教室との交流をすすめ、施設･設備の効率的な共用に努めている。	B		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はA、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はB、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はC、達成できていない場合（達成度40%未満）はDとする。

学校のＵＲＬ：https://www.ishibe-h.shiga-ec.ed.jp/